

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【公表番号】 特表 2001-513818 (P2001-513818A)

【公表日】 平成 13 年 9 月 4 日 (2001.9.4)

【出願番号】 特願 平 10-538629

【国際特許分類第 7 版】

A 0 1 N 59/06

A 0 1 N 25/04

A 0 1 N 25/34

A 0 1 N 59/00

【F I】

A 0 1 N 59/06 Z

A 0 1 N 25/04 1 0 3

A 0 1 N 25/34 A

A 0 1 N 59/00 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 2 月 28 日 (2005.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年2月28日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年 特許願 第538629号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 エンゲルハード・コーポレーション

(ほか1名)

3. 代 理 人

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂1丁目9番15号

日 本 自 転 車 会 館

氏名 (6078)弁理士 小田島 平 吉



電話 3585-2256

4. 補正命令の日付 なし (自発)

5. 補正の対象

「請求の範囲」

6. 補正の内容

別紙のとおり



式 査



別紙

請 求 の 範 囲

1. 支持体の表面が1種類以上の粒状物の層からなる膜で被覆されており、前記の層が1種類以上の粒状物質であって、微細な粒状物質を含んでなり、そして前記の膜が前記の支持体の表面上で気体の交換を許す、園芸用支持体を含んでなる被覆された支持体。
2. 前記の粒状物質が疎水性である、請求項1記載の被覆された支持体。
3. 前記の粒状物質が90°より大きい後退接触角を有する、請求項1記載の被覆された支持体。
4. 粒状物質が、その粒子の90%までが約10ミクロン未満の粒度を有するような粒度分布を有する、請求項1記載の被覆された支持体。
5. 粒状物質が親水性コア及び疎水性外面を含んでなる、請求項1記載の被覆された支持体。
6. 前記の親水性コア物質が炭酸カルシウム、雲母、カオリン、ベントナイト、粘土、アタパルジャイト、葉蠟石、珪灰土、シリカ、長石、砂、石英、チョーク、石灰、珪藻土、重晶石、セラミック、ガラス及び有機微細球、アルミナ三水和物、セラミック繊維、ガラス繊維、着色剤及び二酸化チタンからなる群から選択される、請求項5記載の被覆された支持体。
7. 前記の疎水性外面物質がクロム錯体、有機チタン酸塩、有機ジルコン酸塩又はアルミン酸塩カプリング剤、有機官能性シラン、誘導シリコーン液及び脂肪酸及びそれらの塩からなる群から選択される、

請求項 5 記載の被覆された支持体。

8. 支持体が農業用及び装飾用収穫物から選択される、請求項 1 記載の被覆された支持体。

9. 支持体が、果実、野菜、樹木、花、草、種子、根、並びに造園及び装飾用植物からなる群から選択される、請求項 1 記載の被覆された支持体。

10. 微粒子状物質が約 3 ミクロン未満の個々の中間粒度を有する、請求項 1 記載の被覆された支持体。